2018 年 10 月 11 日

各 位

会 社 名　アルフレッサ ホールディングス株式会社
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　久保 泰三
（コード番号2784 東証一部）
問合せ先　ｺｰﾎﾟﾚｰﾄｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ部長　根本 壮一
（TEL:03－5219－5102）

子会社における福岡物流センターの竣工に関するお知らせ

当社の子会社であるアルフレッサ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：増永孝一）は、「福岡物流センター」を竣工いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1．開設の趣旨

アルフレッサグループは、「16-18 中期経営計画 明日への躍進」において、医療用医薬品等卸売事業の重点施策として「グループ全体最適の追求」を掲げて、物流機能の高度化を推進しています。

この度竣工いたしました「福岡物流センター」は、九州地方の交通の要所である福岡県久留米市に位置し、厳格な温度管理等が求められるPIC／S GDP（※1）を想定した設備やRFID（※2）を活用した、高品質かつ高機能な物流センターです。自動倉庫における最新の免震装置の採用や 72 時間稼働する大型非常用電源の設置により、災害時でも持続的な稼動が可能であり、九州各地へ医薬品を安定供給できる体制を構築しています。

現在、高度な管理が必要とされる医薬品の需要が増加する中で、物流機能の重要性が増しています。福岡物流センターは高度な物流機能を有する当社グループの中核的な物流拠点の１つとして、地域医療へ貢献してまいります。

2．施設の概要

（1）名　　称　福岡物流センター
（2）所 在 地　福岡県久留米市藤光町 735－15
（3）敷地面積　10,725 ㎡ （3,250 坪）
（4）建築面積　4,982 ㎡ （1,507 坪）
（5）延床面積　12,668 ㎡ （3,832 坪）
（6）構　　造　鉄骨造 3 階建
（7）保管品目　25,000 品目

3. センターの特徴

（1）安定的で安心・安全な配送体制

交通の要所である福岡県久留米市に位置し、九州自動車道へのアクセスも良く九州全域への安定的な医薬品の配送体制を構築しています。また、庫内管理システムの高機能化により、ロット別商品管理によるトレーサビリティを可能にしています。

（2）PIC／S GDP を想定した管理体制

PIC／S GDP を想定し、全ての入出荷口にドックシェルターや二重シャッターの設置、空調設備のバックアップ機能、防虫防そ対策など厳格な温度および衛生管理体制をとっています。

（3）災害発生時の継続的な供給体制

建物は耐震等級Ⅰ相当（病院や学校に求められる耐震強度と同等）の耐震強度を持ち、自動倉庫には高機能の免震装置を設置しています。また、72 時間稼働が可能な大型非常用電源の設置や給排水が遮断された場合を想定した受水槽設備を有するなど、災害時にも継続的に供給することのできる物流体制を整えています。

（4）RFID の導入

今後の RFID の普及を想定し、RFID タグをスペシャリティ医薬品等へ貼付することで個包装単位でのトレース管理が可能な設備を導入しています。また、管轄する支店へ向けた出荷オリコンの RFID 情報を読み取ることで、出荷精度の向上や省力化を実現します。

4. 設備投資額

総額 45 億円（土地、建物、物流機器等）

5. カバーエリア

福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

6. 出荷能力

120 億円/月

7. 稼動予定日

2018 年 11 月 26 日

（※1）PIC/S GDP(Pharmaceutical Inspection Co-operation Scheme Good Distribution Practice)：

医薬品の流通過程における温度管理、衛生管理、各種手順書等の作成等に関する国際基準

（※2）RFID（Radio Frequency IDentification）：

無線を利用して非接触で電子タグのデータを読み書きする自動認識技術

以　上